

ハリマ化成（株）加古川製造所

環境保全対策実施報告書

1. 環境保全対策実施状況（平成20年度）

(1) 大気汚染防止対策

推進の内容	実施の成果
①ボイラー排ガスの定期測定、及び日常点検、定期点検の実施	①ボイラーの適正運転を実施し、窒素酸化物排出量の協定値を順守できました。
②省エネ改善活動の推進 ア. エネルギー監視システムの活用による省エネ推進 イ. 蒸気、エア、熱の漏れ箇所調査、修理 ウ. 省エネパトロールの強化	②燃料及び電力の効率的な使用ができました。 蒸気圧力適正化及びトラップ更新等により使用量削減ができました。
③粗トール油（松脂）の蒸留副産品を利用するバイオマス発電事業による炭酸ガス削減	③バイオマス燃料使用による炭酸ガス排出量の削減効果は年間46,000トンとなりました。

(2) 水質汚濁防止対策

推進の内容	実施の成果
①排水監視装置の保守点検 ア. 老朽化 pH計の更新 イ. 窒素・リン・COD自動測定装置の業者点検頻度増加	①水質汚濁負荷量が協定値より低いレベルで維持できました。
②工場内排水槽の浚渫	②汚泥の流出防止ができました。

(3) 騒音、振動防止対策

推進の内容	実施の成果
①騒音の定期測定実施	①騒音の協定値を順守できました。
②ポンプ、圧縮機等の定期点検、オイル交換、部品交換等を実施	②装置の維持、管理、騒音振動の抑制ができました。

(4) 悪臭防止対策

推進の内容	実施の成果
①廃ガス処理装置の定期点検、補修	①工場内の臭気が減少できました。
②廃ガスを燃焼処理させるためのボイラーへの接続管に送風機設置	②臭気処理効率が向上できました。
③従業員による午前、夕方、及び夜間の臭気パトロール	③臭気漏洩の早期発見体制が確立できました。

(5) 産業廃棄物対策

推進の内容	実施の成果
①産業廃棄物管理表の発行、管理	①産業廃棄物の適正処理を確認しました。
②廃棄物の分別及びリサイクル推進 ア. 廃棄物の計画的な処分、発生量の削減 イ. 再生利用、リサイクルへの転換 ウ. 事務消耗品のグリーン購入推進	② ア. 廃棄物在庫量が低減できました。 イ. 発生量に対する埋立量が0.4%となり、ゼロエミッションを継続しました。 ウ. 事務消耗品のグリーン購入比率は95%となりました。
③廃棄物焼却炉の適切な運転	③廃棄物焼却炉が適切に運転できました。

(6) 緑化対策

推進の内容	実施の成果
①工場内の植木の剪定、除草、花壇の整備	①工場内の緑地の整備ができました。

(7) 地域連絡会

推進の内容	実施の成果
①地域との交流 ア. 水足町内会との定期会合の実施 イ. 水足町内会のクリーン作戦へ参加し、工場周辺の清掃を実施 ウ. 水足町内会の夏祭りに模擬店を出店 エ. 加古川楽市での加古川テクニカルフェアに出展し、業務内容等を紹介	①地域との良好な関係を維持しました。
②「トライやるウィーク」で陵南中学校、「インターンシップ」で姫路工業高校、飾磨工業高校、東播工業高校より中高生受入れ	②工場の業務内容について理解を深めて頂きました。
③野口小学校、陵南公民館老人大学等の各種団体の視察受入れ	③工場の業務内容について理解を深めて頂きました。

(8)その他

推進の内容	実施の成果
①清掃作業 6月の環境月間及び年末に従業員全員で工場周辺の清掃を実施	①工場周辺の美化ができました。
②教育訓練 ア. 総合防災訓練の実施 イ. 排水異常、漏洩事故、光化学スモッグ等の緊急対応訓練の実施 ウ. 自社の環境負荷の現状についての勉強会を実施 エ. 環境家計簿の配布 オ. 兵庫県地球温暖化防止活動 知恵の環づくり自慢大会に参加し、取り組みについて発表を行いました。	②緊急時の対応が確認できました。 従業員の環境意識向上が図れました。

2. 協定値と実績値の比較

(1) 大気関係

(実績値：最大値または年間総排出量)

項 目		協 定 値	実 績 値
全燃料中の加重平均硫黄分 (%)		—	0. 2 1
硫黄酸化物排出量 (Nm ³ /H)		—	1. 4
窒素酸化物排出量	(Nm ³ /H)	5. 9	3. 8
	(t/年)	5 7. 6	3 8. 1

(2) 水質関係

①汚濁負荷量

項 目		協 定 値	実 績 値
COD (kg/日)	通常	1 6 9	6
	最大	2 3 9	1 2
BOD (kg/日)	通常	2 2 3	7
	最大	3 1 4	2 2
S S (kg/日)	通常	1 2 8	6
	最大	1 8 1	1 6
ノルマルヘキサン抽出物質 (kg/日)	通常	4 0	0. 9
	最大	5 6	1. 1

② 許容限度

項	目	協定値	実績値
P H	最小～最大	5.8～8.6	6.6～8.0
COD (mg/L)	日間平均	38	3.2
	最大	52	9.7
BOD (mg/L)	日間平均	50	2.7
	最大	58	3.8
S S (mg/L)	日間平均	29	3
	最大	40	1.3
ノルマルヘキサン抽出物質 (mg/L)	日間平均	9	< 0.5
	最大	15	< 0.5
フェノール類含有量 (mg/L)	最大	0.5	0.05

3. 環境保全活動

(1) 平成21年度基本方針

項目	内容
基本方針	<p>当社は、「自然の恵みを暮らしに活かす」を企業理念とし、企業活動が周辺地域のみならず地球環境にも密接に関わり合っていることを認識し、一人ひとりが環境方針に基づき環境保全活動を積極的かつ継続的に推進します。</p>
組織体制	<pre> graph TD A[加古川製造所長] --- B[環境委員会] A --- C[統括環境管理責任者（環境品質管理室長）] C --- D[加古川サイト環境管理責任者（品質・環境管理課長）] D --- E[加古川製造一課] D --- F[加古川製造二課] D --- G[加古川総務課] D --- H[加古川業務課] D --- I[ハリマエムアイディ（株）加古川工場] D --- J[中央研究所] D --- K[電子材料事業部製造部] D --- L[生産技術課] D --- M[施設課] D --- N[品質・環境管理課] D --- O[環境品質管理室] D --- P[業務改革推進室] </pre>

(2) 平成21年度環境保全活動計画

環境保全活動	目標	目標達成のための計画、方策
環境管理活動	環境管理活動の 取り組み強化	①毎月の環境委員会での測定数値の検証 ②環境委員会メンバーによる定期巡回 ③小集団活動による改善取り組み
水質汚濁防止 対策	排水水質の維持管 理と排水異常の撲 滅	①排水水質の監視強化 ②排水槽の汚泥除去の計画的な実施 ③排水系統毎の排水量、水質の確認と見直し
エネルギー対 策	二酸化炭素排出量 前年度比5%削減	①バイオマス燃料の確保 ②エネルギー監視システムの日常管理 ③物流システムの改善提案
廃棄物対策	廃棄物発生量前年 度比5%削減 ゼロエミッション 継続	①廃棄物在庫量の適正化 ②不良品廃棄物の削減 ③廃棄物の再生利用、リサイクルへの転換
緑化対策	緑地の維持	①緑地の整備
教育訓練	環境保全に関する 従業員教育の継続	①環境に関する勉強会の実施 ②総合防災訓練の実施 ③eラーニング導入による環境教育実施

敷地境界騒音測定点

